

# 第7回 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会

## 会 議 資 料

### 議 事

- |                                |       |
|--------------------------------|-------|
| (1) 2017年度（平成29年度）事業報告         | 1ページ  |
| (2) 2017年度（平成29年度）決算報告         | 8ページ  |
| (3) 副会長の選任                     | 10ページ |
| (4) 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会規約の改正     | 11ページ |
| (5) 福山・笠岡地域公共交通網形成計画で定めた施策の指標値 | 12ページ |
| (6) 2018年度（平成30年度）事業計画（案）      | 14ページ |

2018年（平成30年）8月9日

## 2017年度（平成29年度）事業報告

## 1 協議会の開催

## (1) 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会

開催日	事業	内容
2017年 (平成29年) 7月6日	第5回福山・笠岡地域公共交通活性化協議会	報告 ・2016年度（平成28年度）事業・決算報告について ・前回協議会からの経過について 議事 ・2017年度（平成29年度）補正予算（案）について ・2017年度（平成29年度）事業計画（案）
2018年 (平成30年) 3月26日	第6回福山・笠岡地域公共交通活性化協議会	報告 ・福山・笠岡地域公共交通網形成計画に基づく路線バス見直しの取組について 議事 ・福山・笠岡地域公共交通再編実施計画の策定に向けて ・住民主導による公共交通導入のマニュアル作成について ・2018年度（平成30年度）予算（案）について

## (2) 福山地域部会

開催日	事業	内容
2018年 (平成30年) 2月14日	第3回福山地域部会	議事 ・福山・笠岡地域公共交通網形成計画に基づく路線バス見直しの取組について

## (3) 笠岡地域部会

開催日	事業	内容
2017年 (平成29年) 5月29日	第1回笠岡地域部会 (書面審議)	議事 ・平成29年度地域公共交通確保維持計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）変更認定申請について
2017年 (平成29年) 8月8日	第2回笠岡地域部会	議事 ・平成28年度事業報告及び決算報告について ・平成29年度事業計画案及び予算案について ・平成30年度地域公共交通確保維持計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）について ・地域公共交通再編実施計画の策定作業の現状について ・公共交通の利用促進に関する事業者等の取組について
2017年 (平成29年) 12月27日	第3回笠岡地域部会 (書面審議)	議事 ・地域公共交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）に関する事業評価の実施について

## 2 事業費の支出

### (1) 福山・笠岡地域公共交通再編実施計画調査業務委託

目 的：福山市及び笠岡市の区域において、2018年度（平成30年度）に策定を予定している「福山・笠岡地域公共交通再編実施計画」作成のための方針検討、及び住民主導による公共交通導入の仕組みづくり等を行うこと

選定方法：公募型プロポーザル方式

契約相手：株式会社地域未来研究所

契約金額：3,537,000円

契約期間：2017年（平成29年）7月4日から2018年（平成30年）3月31日まで

成 果 品：福山・笠岡地域公共交通再編実施計画調査業務 報告書  
住民主体路線（乗合タクシー）導入マニュアル

### (2) 福山・笠岡地域公共交通マップ作成業務委託

目 的：公共交通を利用する意向のある市民等が必要な情報を容易に入手できる環境を整え、公共交通の利用促進を図るため、鉄道、航路、バス路線を記載した福山市と笠岡市での一体的な公共交通マップを作成すること

選定方法：公募型プロポーザル方式

契約相手：株式会社コーセイカン

契約金額：3,315,600円

契約期間：2017年（平成29年）12月1日から2018年（平成30年）3月31日まで

国庫補助：1,657,800円（補助事業名：地域公共交通確保維持改善事業費補助金）

成 果 品：福山・笠岡公共交通マップ 20,000部

### 3 2017年度（平成29年度）事業計画に対する取組

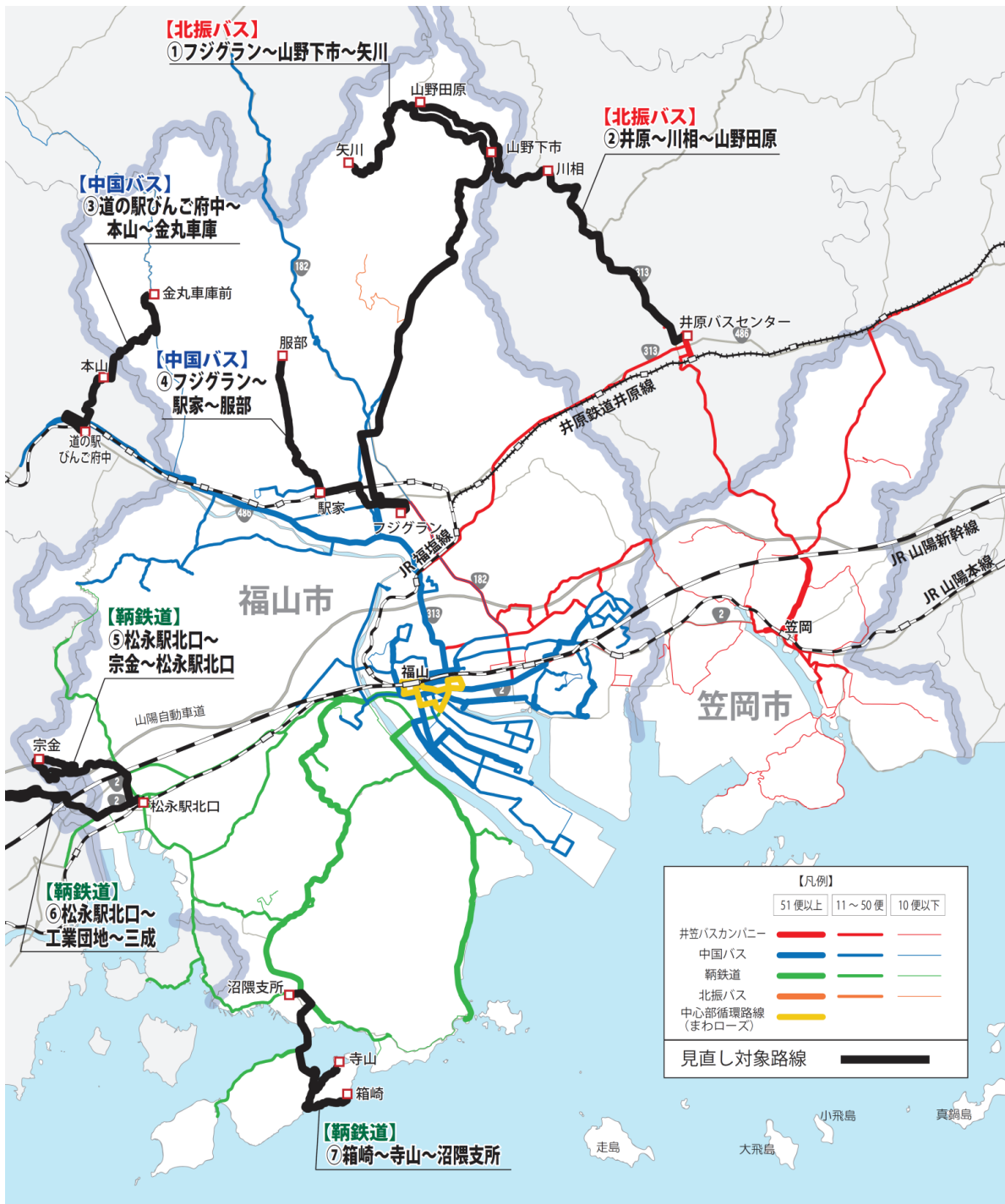
#### (1) 利用者の需要に応じた持続可能な運行方法への転換

##### 1. 事業内容

2016年度（平成28年度）の経常収益率をみると、福山市の7路線（16系統）が最低需要の基準を下回っている。当該路線を候補路線として、福山市、交通事業者、沿線住民で協議を行い、地域特性や利用実態に合った運行形態（サービス水準、交通手段）への転換を行う。

なお、笠岡市については、候補路線はない。

##### 2. 見直し対象路線



### 3. 取組経過

バス 路線	関連学区	昨年度の取組経過	
①②	山 野	2017年7月25日	住民説明を実施
		2017年12月8日	住民との協議会を開催
①	加 茂	2017年7月31日	住民説明を実施
③	常金丸	2017年8月1日	住民説明を実施
		2017年8月30日	住民との協議会を開催
		2017年9月29日	住民との協議会を開催
		2018年2月5日	住民との協議会を開催
④	服 部	2017年8月7日	住民説明を実施
		2017年9月14日～	住民アンケートの実施(全戸配布)
		2017年12月5日	住民との協議会を開催
		2018年2月28日	住民への周知資料(アンケート結果, 方針)を全戸配布
④	駅家東	2017年12月19日	住民説明を実施
⑤	東 村	2017年7月25日, 8月5日, 9月7日 住民説明を実施	
		2018年1月16日	高齢者支援課との合同で住民説明を実施
⑥	今 津	2017年8月9日	住民説明を実施
		2017年8月30日	情報提供資料を全戸配布
		2017年9月28日	地域実態の確認(会長と協議)
		2017年12月26日	尾道市と協議
⑦	内 浦 (田島東部)	2017年8月8日	住民説明を実施
		2017年9月20日～	住民アンケートの実施(全戸配布)
		2017年12月19日	住民との協議会を開催
		2018年2月28日	住民への周知資料(アンケート結果, 方針)を全戸配布

#### 4 取組結果

バス路線	関係学区	運行回数	主な見直し内容	見直し時期
①	山野加茂	平日・土曜日 4回 (木曜日 4.5回) 日祝日 2回	【バス路線見直し】 ・一部バス路線（山野田原～矢川間）を廃止 ・月2回開所している山野田原診療所への送迎は高齢者おでかけ支援事業で対応	2018年 4月
②	山野	平日 5回 土日祝日 3回	【バス路線見直し】 ・バスの最終便を山野下市止めに 変更	同上
③	常金丸	平日・土曜日 4回 日祝日 3回	【バス時刻表見直し】 ・学生が通学利用できるよう時刻表を変更し利用促進	同上
④	服部 駅家東	平日 3.5回 土曜日 3回 日祝日なし	【乗合タクシー導入】 ・服部学区において、路線バスに替えて乗合タクシー導入を検討	2018年度 中に実証 運行開始
⑤	東村	平日・土曜日 3回 日祝日なし	【路線バスから転換】 ・路線バスに替えて乗合タクシー 又は高齢者おでかけ支援事業を 導入する方向で検討	2018年度 中におで かけ支援 事業開始
⑥	今津	平日・土曜日 3回 日祝日 2回	【協議・検討中】 ・隣接する尾道市と継続協議	未定
⑦	内浦 (田島 東部)	平日・土曜日 6回 日祝日 3回	【バス運行回数見直し】 ・路線バスの平日・土曜日の運行回 数を半分に減便し、減便後も収 益率が改善されない場合は乗合 タクシー導入を検討	2018年 4月

#### (2) 両市民の交流を促進する移動手段の導入検討

##### 1. 事業内容

福山市と笠岡市は、県境を跨ぐものの、通勤や買物、通院などの生活移動が多いなど、両市民にとっての日常生活圏になっている。そのため、地域間移動の利便性を高め、一層の交流促進を図るために、利用ニーズに適した新たな公共交通の導入を検討する。

##### 2. 取組結果

2018年度（平成30年度）に笠岡駅と福山市役所東部支所を起終点とするルートで実証運行を行うこととした。

### (3) 住民主導による公共交通導入のマニュアル作成

#### 1. 事業内容

公共交通を守り、育てるという強い意識を持つ地域住民の主導により、日常生活を支える公共交通を導入し、かつ維持するための仕組みを構築し、市民への周知を図るために「住民主体路線（乗合タクシー）導入マニュアル」を作成する。

#### 2. 取組結果

2018年（平成30年）3月26日に行った第6回福山・笠岡地域公共交通活性化協議会での意見を反映し作成した。

### (4) 高齢者タクシーチケット助成事業の実施

#### 1. 事業内容

笠岡市でタクシー運賃等の助成など、高齢者等の移動を支援する制度を推進する。

#### 2. 取組結果

笠岡市で2017年度（平成29年度）からの新規事業として、移動手段を持たない75歳以上の高齢者が買い物や病院への通院を目的としてタクシーを利用する場合に使用できる500円分のチケットを交付した。2017年度（平成29年度）は交付決定者1,193人に対してタクシー料金助成券を送付し、17,772枚（8,886,000円分）が利用された。

### (5) 公共交通マップ作成

#### 1. 事業内容

鉄道、航路、バス路線を記載した、福山市と笠岡市で一体的な公共交通マップを作成する。これらは福山市、笠岡市の主要な乗継ポイントのほか、中心部の主要商業施設や各公共施設、病院などで配布する。

#### 2. 取組結果

福山・笠岡公共交通マップを20,000部作成し、福山市役所及び笠岡市役所の拠点施設等で配布を行っている。

### (6) 利用促進施策等の実施

#### 1. 事業内容

地域や学校団体等と連携し、公共交通の社会的意義や利用意識の啓発を図るモビリティ・マネジメントを推進するとともに、実際にバスの乗り方などをレクチャーする等、ソフト的な取組を通じて、公共交通の利用を促す。

福山市は小学校TFPや、イベント時における乗り方教室を継続していく。笠岡市は公共交通に関心を持つ団体と連携して実施していく。

#### 2. 取組結果

11回の利用促進活動を実施した。

## (7) 再編方針の検討

### 1. 事業内容

2017年度（平成29年度）から2018年度（平成30年度）までの2年間で作成を予定している「福山・笠岡地域公共交通再編実施計画」策定に向けて検討を行う。具体的には、利便性の高い公共交通ネットワークの形成を推進するため、交通手段間の連携を図り、交通結節点となる乗り継ぎ拠点の設置方針や路線バスの再編方針を検討する。

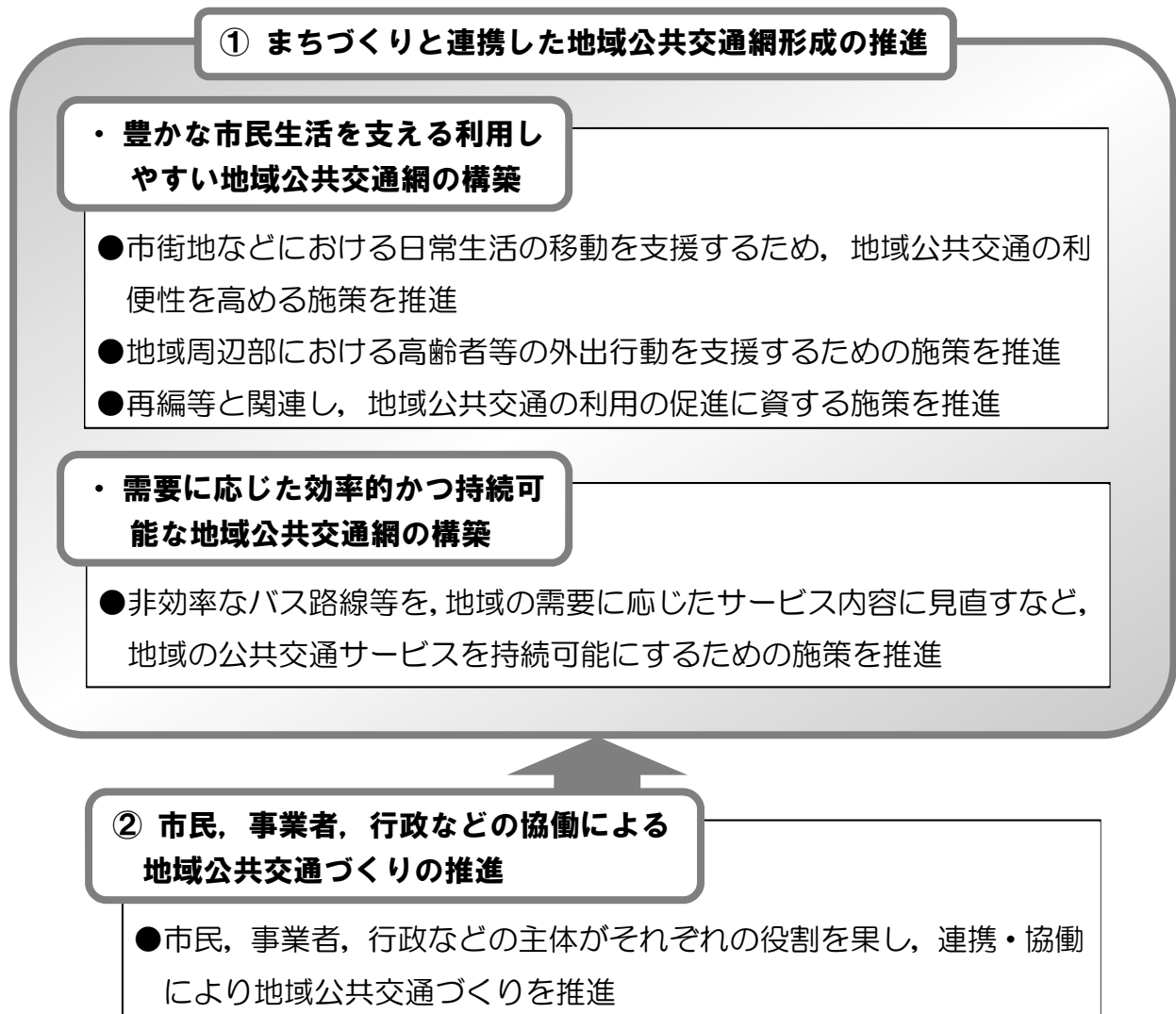
### 2. 取組結果

再編のコンセプトと取組イメージを次のとおり定めた。

#### 再編のコンセプト

- ① まちづくりと連携した地域公共交通網形成の推進
  - ・ 豊かな市民生活を支える利用しやすい地域公共交通網の構築
  - ・ 需要に応じた効率的かつ持続可能な地域公共交通網の構築
- ② 市民、事業者、行政などの協働による地域公共交通づくりの推進

#### 取組イメージ





## 2017年度（平成29年度）決算報告

歳入 （単位：円）

款 項 目	予算額	決算額	差引 <small>（予算額-決算額）</small>	摘 要
1 負担金	5,663,000	5,663,000	0	福山市：4,923,000 笠岡市：740,000
1 負担金				
1 負担金				
2 補助金	1,663,000	1,657,800	5,200	国庫補助金
1 補助金				
1 補助金				
3 繰越金	48,182	48,182	0	
1 繰越金				
1 繰越金				
4 諸収入	1,000	46	954	預金利息
1 諸収入				
1 雑収入				
計	7,375,182	7,369,028	6,154	

歳出 （単位：円）

款 項 目	予算額	決算額	差引 <small>（予算額-決算額）</small>	摘 要
1 運営費	400,000	12,750	387,250	
1 会議費				
1 会議費				
2 事務費				
1 事務費				
2 事業費	6,866,000	6,852,600	13,400	再編実施計画調査事業： 3,537,000円 計画推進事業：3,315,600円
1 事業費				
1 事業費				
3 予備費	49,182	0	49,182	
1 予備費				
1 予備費				
計	7,375,182	6,866,754	508,428	

歳入決算額	7,369,028円
歳出決算額	6,866,754円
差引額	502,274円


差引額については2018年度（平成30年度）へ繰り越す。

## 監 査 報 告

2017年度（平成29年度）福山・笠岡地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算について監査を行ったところ、関係諸帳簿は適正かつ正確に処理されていたことを認めます。

2018年（平成30年）7月4日

監 事 平野 勲 

監 事 和田秀俊 

## 副会長の選任について

本協議会の副会長に就任していたものが交代したことに伴い、協議会規約第6条第1項の規定により副会長の選任を行う。

選任すべき副会長 2名

## 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会規約の改正

1 規約改正の趣旨

機構改正等の影響をなくし、速やかな事務処理を行うため。

2 福山・笠岡地域公共交通活性化協議会規約一部改正に係る新旧対照表

(下線部分は改正箇所)

改 正 案	現 行
<p>福山・笠岡地域公共交通活性化協議会規約</p> <p>第1条～第11条 略</p> <p>(事務局)</p> <p>第12条 協議会の事務を処理するため、協議会に事務局を置く。</p> <p>2 事務局は、<u>福山市と笠岡市</u>とが共同してその任にあたる。</p> <p>3 事務局には、事務局長、事務局次長及び事務局員を<u>置く</u>。</p> <p>4 事務局の運営に関して必要な事項は、会長が別に定める。</p> <p>第13条～第18条 略</p> <p>附則</p> <p><u>この規約は、2018年(平成30年)7月6日から施行する。</u></p>	<p>福山・笠岡地域公共交通活性化協議会規約</p> <p>第1条～第11条 略</p> <p>(事務局)</p> <p>第12条 協議会の事務を処理するため、協議会に事務局を置く。</p> <p>2 事務局は、<u>福山市建設局都市部都市交通課と笠岡市政策部企画政策課</u>とが共同してその任にあたる。</p> <p>3 事務局には、事務局長、事務局次長及び事務局員を置き、<u>次の各号に定める区分に応じて、当該各号に定める者をもって充てる。</u></p> <p style="margin-left: 20px;">(1) <u>事務局長 福山市都市部長</u></p> <p style="margin-left: 20px;">(2) <u>事務局次長 笠岡市政策部長</u></p> <p style="margin-left: 20px;">(3) <u>事務局員 事務局長が指名する者</u></p> <p>4 事務局の運営に関して必要な事項は、会長が別に定める。</p> <p>第13条～第18条 略</p>

福山・笠岡地域公共交通網形成計画で定めた施策の指標値

1 地域公共交通の利用者数の維持

評価指標	鉄道，路線バス等，航路の利用者数			
目標値	現況		目標	
	2015年度 (平成27年度)	<u>21,447千人/年</u>	2021年度 (平成33年度)	<u>21,500千人/年</u>

2016年度（平成28年度）：21,657千人/年

2017年度（平成29年度）：21,759千人/年

単位：千人/年

		2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)
福山市	鉄道	15,327	15,532
	路線バス等	4,320	4,222
	航路	50	49
	計	19,697	19,803
笠岡市	鉄道	1,348	1,326
	路線バス等	439	461
	航路	173	169
	計	1,960	1,956
全体	鉄道	16,675	16,858
	路線バス等	4,759	4,683
	航路	223	218
	計	21,657	21,759

2 路線バスの健全化の向上

評価指標	経常収益率15%未満の系統数			
目標値	現況		目標	
	2015年度 (平成27年度)	<u>17系統</u>	2021年度 (平成33年度)	<u>8系統以下</u>

2016年度（平成28年度）：16系統

2017年度（平成29年度）：24系統

### 3 公共交通の運行（運航）維持のための市負担額の水準維持

評価指標	公共交通維持に係る市の負担額			
目標値	現況		目標	
	2015年度 (平成27年度)	<b>福山市：176,690千円</b> <b>笠岡市：36,452千円</b>	2021年度 (平成33年度)	<b>福山市：180,000千円</b> <b>笠岡市：40,000千円</b>

2016年度（平成28年度）：福山市：160,481千円

笠岡市：33,500千円

2017年度（平成29年度）：福山市：181,950千円

笠岡市：47,839千円

単位：千円

		2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)
福山市	陸上交通	120,876	143,419
	海上交通	39,605	38,531
	計	160,481	181,950

単位：千円

		2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)
笠岡市	陸上交通	28,905	43,570
	海上交通	4,595	4,269
	計	33,500	47,839

### 4 関係主体による積極的な利用促進活動の推進

評価指標	市民向けの利用促進活動の実施回数			
目標値	現況		目標	
	2016年度 (平成28年度)	<b>9回</b>	2022年度 (平成34年度)	<b>10回</b>

2017年度（平成29年度）：11回

	学校名/イベント名	実施日	実施箇所	内容
福山市	福山市立駅家西小学校	6月23日	福山市立駅家西小学校	バスのり方教室
	交通安全ファミリーランド	9月23日	メモリアルパーク	公共交通PR，バスのり方教室
	バスまつり2017	11月3日	中央公園	公共交通PR，バスのり方教室
	保育所児童によるまわローズ装飾	12月	中央公園	公共交通PR，バスのり方教室
	井原線感謝デー	1月14日	神辺駅他	公共交通PR
	福山市立駅家西小学校	5月12日～ 6月23日 (内3日)	福山市立駅家西小学校	小学校出前授業（TFP）
笠岡市	子どもの日	5月5日	—	子ども運賃無料
	スタンプラリー	7月	—	公共交通PR
	水鉄砲大会	8月27日	笠岡市交通交流センター	バスのり方教室
	交通安全フェスティバル	9月23日	笠岡自動車学校	公共交通PR，バスのり方教室
	高等学校等へ定期券発売・説明	3月	—	公共交通PR

## 2018年度（平成30年度）事業計画（案）

## 2018年度（平成30年度）予算

歳入 (単位：円)

款 項 目	予算額	摘 要
1 負担金	7,650,000	福山市：6,779,000 笠岡市：871,000
1 負担金		
1 負担金		
2 補助金	7,350,000	国庫補助金
1 補助金		
1 補助金		
3 繰越金	502,274	
1 繰越金		
1 繰越金		
4 諸収入	726	預金利息
1 諸収入		
1 雑収入		
計	15,503,000	

歳出 (単位：円)

款 項 目	予算額	摘 要
1 運営費	100,000	
1 会議費		
1 会議費		
2 事務費	200,000	
1 事務費		
2 事業費	15,200,000	再編実施計画策定事業：10,200,000 計画推進事業：5,000,000
1 事業費		
1 事業費		
3 予備費	3,000	
1 予備費		
1 予備費		
計	15,503,000	

※歳出費目にかかる予算は、これを流充用することができる。

## 1. 福山・笠岡地域公共交通網形成計画に基づく事業

### 1 利用者の需要に応じた持続可能な運行方法への転換

#### (1) 網形成計画での位置付け

計画事業1 持続可能な地域公共交通ネットワークの構築

施策① 路線バスの運行・改善及び再編

#### (2) 事業内容

2017年度（平成29年度）の経常収益率をみると、新たに福山市の1路線（3系統）が最低需要の基準（経常費用の15.0%以上の収益<sup>\*</sup>があること）を下回っている。当該路線を候補路線として、福山市、交通事業者、沿線住民で協議を行い、地域特性や利用実態に合った運行形態（サービス水準、交通手段）への転換を行う。

※「経常費用の15.0%以上の収益」とは、運行区間の概ね8割で1人利用、残り2割で利用が無い状態

#### 【転換方針の例】

- ・暫定運行という形で一定期間運行するとともに、基準値を上回るように利用促進策を進める。基準を上回る利用がない場合には廃止を検討する。
- ・沿線住民が主体的に関与する「住民主体路線」として、乗合タクシー等を導入する。
- ・移動サービスに関連する市の支援制度（高齢者おでかけ支援事業等）を導入する。

#### 【今後の進め方】

今年度作成する予定の「再編実施計画とも整合を取りつつ、候補路線を中心に、利用者の需要に応じた持続可能な運行方法への転換を進める予定。

①候補路線の公表（本協議会にて）

②対象となる学区への説明・協議を開始

（既存の公共交通の利用実態・ニーズ、課題の把握、新たな運行方法等の説明）

#### (3) 実施主体

福山市、交通事業者、沿線住民



(4) 候補路線

	起点 主な経由地 終点	系統数	運行回数 (回)			キロ程 (km)	2017 収益率 (%)	主な関係 学区
			平日	土曜日	日祝日			
1	フジグラン前 山守 柞磨	3	4.0	4.0	0	14.5～ 17.4	12.7	宜山 福相 有磨
2	天満 芦田局前 新市駅前	1	3.0	3.0	0	7.4	16.0	

天満～新市駅前線は収益率 15%を超えているが、柞磨線と路線が重なっている部分があり、合わせて見直しを検討した方が有効と考えられるため見直しを検討する。

(5) 候補路線図



## 2 地域間交流を促進する移動手段の実証運行

### (1) 網形成計画での位置付け

計画事業1 持続可能な地域公共交通ネットワークの構築  
施策② 地域間交流を促進する公共交通の導入検討

### (2) 事業内容

福山市と笠岡市は、県境を跨ぐものの、通勤や買物、通院などの生活移動が多いなど、両市民にとっての日常生活圏になっている。そのため、地域間移動の利便性を高め、一層の交流促進を図るために、公共交通の導入を検討する。

利用者ニーズを把握するため、今年度に笠岡駅と福山市役所東部支所を起終点として実証運行を行う。

### (3) 実施主体

福山市，笠岡市，交通事業者

## 3 高齢者タクシーチケット助成事業の拡充検討

### (1) 網形成計画での位置付け

計画事業1 持続可能な地域公共交通ネットワークの構築  
施策⑦ 移動支援に係る制度の推進

### (2) 事業内容

笠岡市で実施しているタクシー運賃の助成事業について、内容の拡充を調査・検討する。

### (3) 実施主体

笠岡市

※福山市はタクシー，バスに利用可能なおでかけ乗車券の交付を実施している。

## 4 公共交通総合時刻表作成

### (1) 網形成計画での位置付け

計画事業3 地域公共交通の利用促進施策の推進  
施策① 公共交通に係る情報提供の推進

### (2) 事業内容

路線バス，鉄道，航路の時刻表を記載した，福山市と笠岡市での一体的な総合時刻表を作成する。これらは福山市，笠岡市の主要な乗継ポイントのほか，中心部の主要商業施設や各公共施設，病院などで配布する。

### (3) 実施主体

福山市，笠岡市，交通事業者

## 2. 福山・笠岡地域公共交通再編実施計画の策定に向けた事業

### 1 交通事業者，地域住民との合意形成

#### (1) 事業内容

交通事業者や地域住民と持続可能な公共交通網の構築に向けて協議を行い，あるべき姿や役割分担等を明確化し，合意形成を行う。

#### (2) 実施主体

福山市，笠岡市，交通事業者，地域住民

### 2 公共交通のサービス内容の検討

#### (1) 事業内容

ＩＣカード（ＰＡＳＰＹ）や乗降調査等のデータを分析し，幹線，準幹線，支線を明確化し，それぞれに応じた適正なサービス内容を検討する。また，交通結節点についてもサービス内容を検討する。

#### (2) 実施主体

福山市，笠岡市，交通事業者

### 3 新規路線に関する需要調査

#### (1) 事業内容

福山市中心部循環路線「まわローズ」について，新規路線の需要の把握のため，１～２か月間の実証運行を実施する。内容としてはＪＲ山陽本線北側を含むルート等を調査・検討する。

#### (2) 実施主体

福山市，笠岡市，交通事業者

### 4 既存路線の効率化の検討

#### (1) 事業内容

バス事業者との協議により路線の集約化，幹線の細分化でフィーダー路線を検討する。

#### (2) 実施主体

福山市，笠岡市，交通事業者

## 5 福山・笠岡地域公共交通再編実施計画の策定

### (1) 事業内容

上記の内容をとりまとめ、計画の策定を行う。合わせて、福山・笠岡地域公共交通網形成計画の変更を行う。

### (2) 今後の予定

再編事業内容の検討	2018年（平成30年）4月～9月
協議会での素案協議	2018年（平成30年）10月
協議会での計画案協議	2019年（平成31年）1月
網形成計画の変更	2019年（平成31年）1月
パブリックコメント実施	2019年（平成31年）2月
再編実施計画の策定	2019年（平成31年）3月

協議会開催予定 2018年（平成30年）10月，2019年（平成31年）1月，3月

### (3) 実施主体

福山・笠岡地域公共交通活性化協議会